



フロントブレーキにはサンスター-320mmフローティングディスクを装備。前後FKエクスルH型アルミリムで、F19、R18インチ。

SURESHOT

# SR522

文=及川壯一 text by SOUICHI OIKAWA 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE  
取材協力=シュアショット phone 043-445-0077 <http://www.sureshot.jp/>

純正のような美しさとバランスをコンセプトに、これまでに数々のチョッパーを生み出してきたシュアショットだが、H-Dのみならずドメスティックに関しても秀逸な作品を生み出してきた。その一例といえるのがこのSRで、トラッカーとボバーを融合させ、ポードトラックレーサーを現代風にアレンジしているという。レーシーなルックスはけっしてハッタリではなく、実はこのマシンの肝要は「走り」にこそある。そのエンジンは、ハイカムやボアアップ、WPC、ポート

加工を施してスーパアップし、スロットルをひねればフロントが浮くほどの走りを実現。このパワーをフルに使えるようH型アルミリムや大径ディスク、6ボッドキャリパー等で足回りも強化し、さらにFRPでのリヤインナーフェンダーやシートベースで車体を軽量化。ストレートでもコーナーでも走りを存分に楽しめるマシンにビルドされている。クラシックなルックスに現代のテクニック……端正で知的な演出が冴える大人のSRチョッパーといえるだろう。



1 Coloring Worksによってペイントされたワンオフのフェルエルタンク。Rio Studioのゴールドドリップによるヤマハの章々マークがポイントになっている。2エンジンは522ccまでスーパアップされたヤマハバシシングル。そこにケイシン製CR39&WMヴェロシティスタックスを装着する。3。シートレールをループ加工し、ワンオフのシートをセット。4ワンオフのショートリアフェンダーにキジマのテールライト。5排気効率とサウンドを向上させたメカホンマフラーもワンオフ。6ワイドなフルバックハンドルもワンオフで製作したもの。そこに組み合わせるライザーはV-Twin製。グリップはヴィンテージのNOSを装着する。

